



特種東海製紙株式会社

個人投資家様向け会社説明

2026年 6月2日
東証プライム 証券コード:3708

※ 本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。



登壇者プロフィール

- | | |
|----------|-----------------|
| 2002年 8月 | 特種製紙株式会社 入社 |
| 2016年 6月 | 当社経営企画本部 企画業務部長 |
| 2022年 7月 | 同理事経営企画本部長 |
| 2024年 7月 | 同執行役員資源再活用本部長 |
| 2025年 4月 | 同常務執行役員社長付 |
| 2025年 6月 | 同代表取締役社長（現職） |

特種東海製紙株式会社
代表取締役社長

木村 隆志

TECHNOLOGY & TRUST

技術と信頼で顧客と共に未来をひらく



つくる、ふたたび。未来へ



M&A関連投資
190億円以上

DOE 4.0%
or
配当性向 50%

特種東海製紙とは？

ただの“製紙メーカー”ではありません

将来に向けた成長ストーリーは？

社会・環境課題の
ソリューションパートナーを目指します

中期経営計画の内容は？

成長投資の積極化と株主還元強化を両立します

紙は環境と共生可能なビジネスです



紙の生産・消費 ≠ 森林の減少

- 森林減少の原因は農地等への転用や違法/過剰伐採、森林火災で木材林産物の生産を目的とする森林面積は1990年以降一定と評価
- 適切な調達を行って作られた紙は森林減少と無関係



紙の原料の6割は古紙

- 国内で使用される紙の原料の6割は古紙
- 日本の古紙利用率は67%と世界トップクラスで、製紙には高度なリサイクルシステムを有している



環境・経済の両面を踏まえてリサイクル事業に力を入れています

環境面

産業用紙を中心に
古紙を有効活用

古紙利用率

73%

化石燃料からの
エネルギー転換

廃棄物・バイオマス
燃料の使用比率

80%

装置産業ながら
低炭素操業を実現

紙生産1tあたりの
CO₂排出量

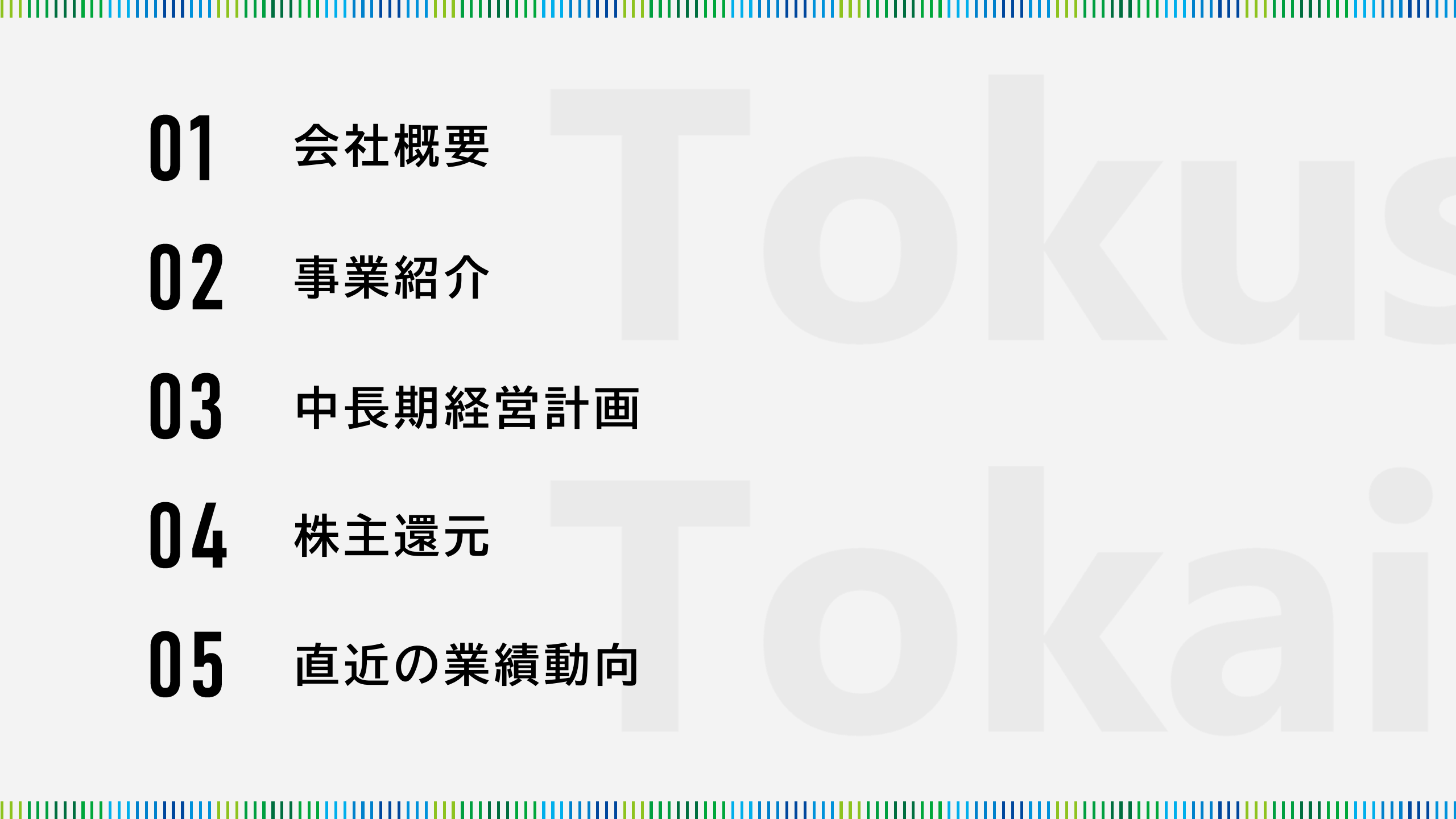
業界平均の
1/3

経済面

- 新聞紙や一般的なプリント用紙は非取扱だが、出版向けや情報用紙などで電子化の影響を受けている

➔ 製紙以外の収益源の必要性

製紙以外の事業領域として、2020年
『環境関連事業』をセグメント化

- 
- 01 会社概要
 - 02 事業紹介
 - 03 中長期経営計画
 - 04 株主還元
 - 05 直近の業績動向

Tokus

Tokai

01 会社概要

02 事業紹介

03 中長期経営計画

04 株主還元

05 直近の業績動向

Tokuis

Tokai

トクシュ トウカイ セイシ
特種東海製紙

“特別な原料（**タネ**）を使用することで
独自の特殊な紙を製造したい” 想い

設立

2007年

グループ子会社※

16社

2026年3月末時点

グループ従業員数

1,873名

2026年3月末時点

資本金

114.9億円

2026年3月末時点

生産拠点

製紙 **8** 拠点 リサイクル **13** 拠点

2026年3月末時点

連結売上高

954億円

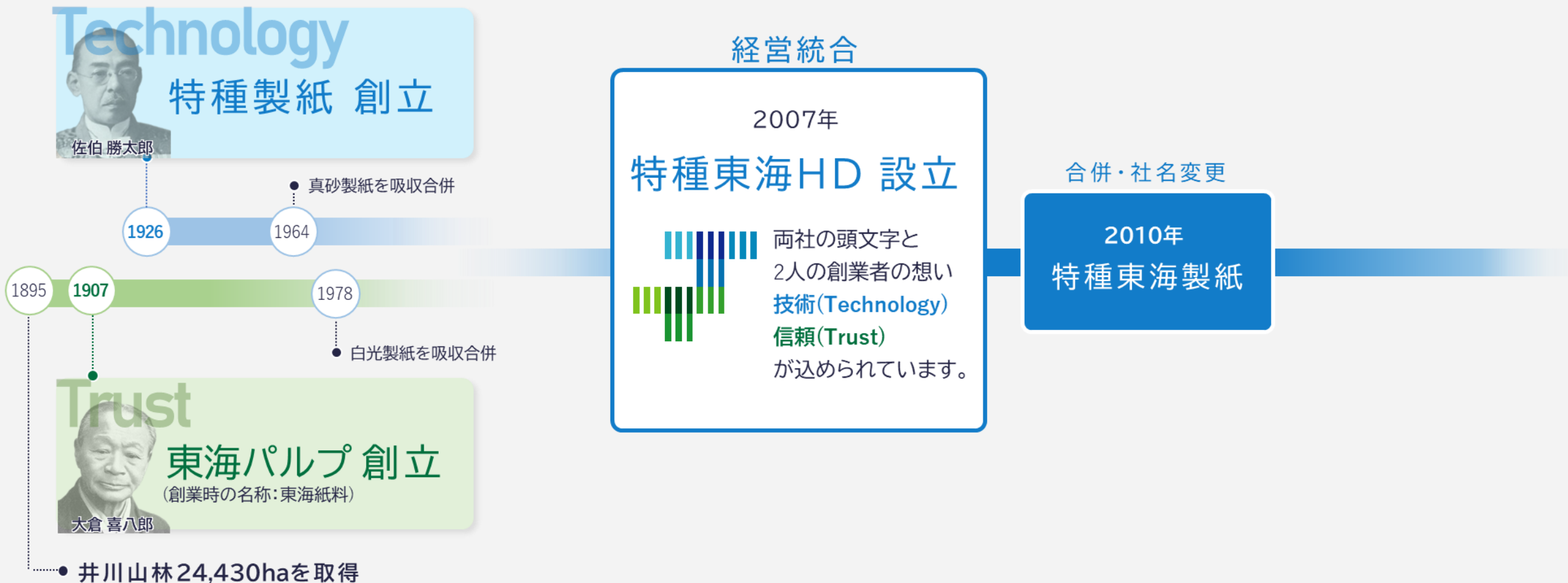
2026年3月期実績

時価総額

700億円

2026年5月29日時点

2つの製紙メーカーが経営統合 本年度で20期目を迎えます



創業精神を受け継ぎ、社会・環境のニーズに応えながら成長を続けています

企業理念

Business philosophy

ユニークで存在感のある企業集団として、
社会と環境に貢献する

目指すべき企業像

Corporate images target

技術と信頼で 顧客と共に未来をひらく
オンリーワンビジネス企業

01 会社概要

02 事業紹介

03 中長期経営計画

04 株主還元

05 直近の業績動向

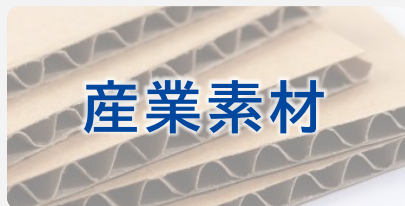
Tokuis

Tokai

製紙3セグメント + 環境1セグメントで構成されています

製紙セグメント

837 億円



産業素材

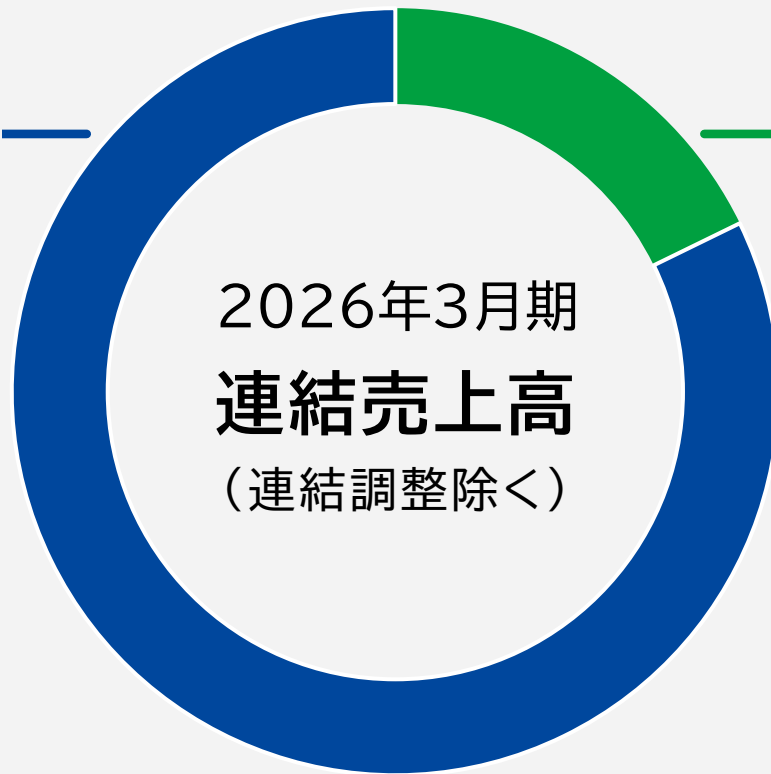


特殊素材



生活商品

82%



2026年3月期
連結売上高
(連結調整除く)

18%

環境セグメント

181 億円

環境関連



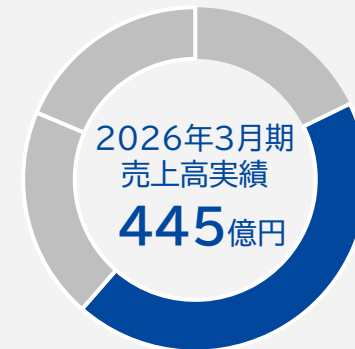
+





東京ドーム10個分の広大な工場で 産業用包装紙の製造・販売を行っています

- 1工場での紙板紙生産量としては**国内TOP5**に入る規模
- 廃棄物・バイオマスエネルギー主体の**低炭素操業**を実現



連結売上高に
占める割合

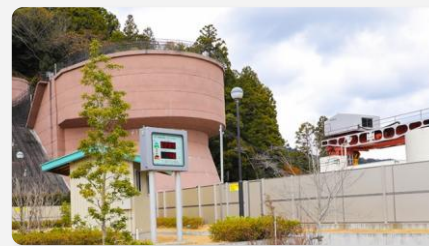
43%

段ボール原紙・クラフト紙の製造販売



- 飲料や工業製品を輸送する際の段ボールや、米袋などの包装に使用
- 販売スキームの関係で損益は持分法投資損益で経常利益にて認識※

水力発電による電力の外部販売



- 約16,000世帯分の年間使用電力量を発電
- 再生エネルギー固定価格買取制度を利用し全量売却、セグメント営業利益利益の6割強を占める



100種類を超える製品銘柄を強みに ニッチ市場でシェアを獲得しています

- 特殊紙の国産化を実現させた**パイオニア**としての技術力
- 多品種・小ロット・**高付加価値**の製品群を保有



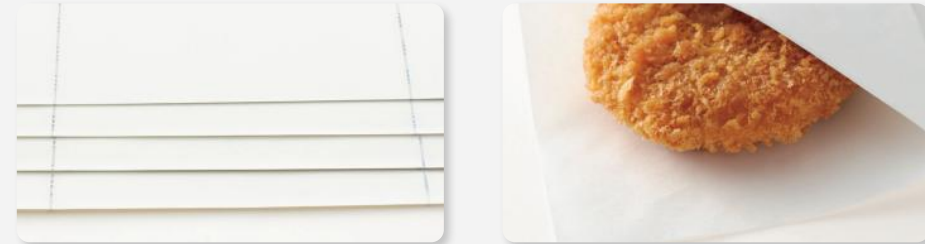
連結売上高に
占める割合
20%

特殊印刷用紙の製造販売



- 一般的な印刷用紙ではなく、単行本の装丁や高級パッケージ、写真集、映画のパンフレットなどに使用される“特殊印刷用紙”

特殊機能紙の製造販売



- 1964年の東京オリンピック入場券にも採用された偽造防止技術をはじめ、耐油性、絶縁性、滅菌など幅広い機能性を付与した製品群



手触りや風合いへこだわった衛生用紙で ユーザー様から高い評価を得ています

- ふるさと納税返礼品最新月間ランキング**3位**を獲得※
- **古紙**を活用した業務用品に強み



連結売上高に
占める割合

18%

衛生用紙の製造販売



- トイレットペーパー、ペーパータオルのラインナップを保有、優待品にも採用

ラミネートの加工、製造販売



- ケータリングやテーマパークのお土産品などに採用される紙加工製品

※ トイレットペーパー。「さとふる【2026年最新】ふるさと納税 人気お返礼品おすすめランキング(月間4/27~5/26)」



環境と調和する将来の成長エンジンとして 経営資源を傾注しています

- **リサイクルと山林関連**、2つの事業を擁するセグメント
- 前中計期間でセグメント利益は**約9倍※**に成長



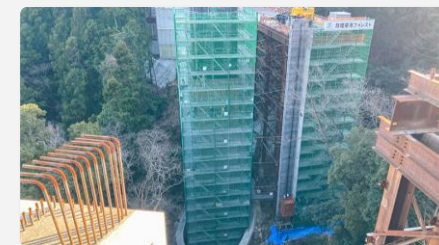
連結売上高に
占める割合
18%

収集運搬・中間処理・再資源化など



- 製紙工場で利用する廃棄物燃料の自社収集&生産を皮切りに20年以上に渡りリサイクル事業を推進
- リサイクル関連会社は現在5社

社有林の活用・土木建築など



- JR山手線で囲まれる面積の約4倍に相当する山林を静岡県内に保有（一団地としては日本最大）
- ウイスキー製造や山小屋の運営、河川改修工事、公共事業の造成など地域に根差した事業を展開

01

会社概要

02

事業紹介

03

中長期経営計画

04

株主還元

05

直近の業績動向

Tokuis

Tokai

『ビジョン2035』スローガン

つくる、ふたたび。未来へ

Turn³ SCALE 第9次中期経営計画
(2033/3期~2035/3期) 経常利益 ROE
グループ収益を拡大させる期間 **130** 億円 **9.0%**

Turn² GROW 第8次中期経営計画
(2030/3期~2032/3期) 経常利益 ROE
収益基盤を強固する育成期間 **100** 億円 **8.0%**

Turn¹ BUILD 第7次中期経営計画
(2027/3期~2029/3期) 経常利益 ROE
将来を見据えた基礎固めの期間 **80** 億円 **7.0%**

社会・環境課題のソリューション・パートナーへ



方針

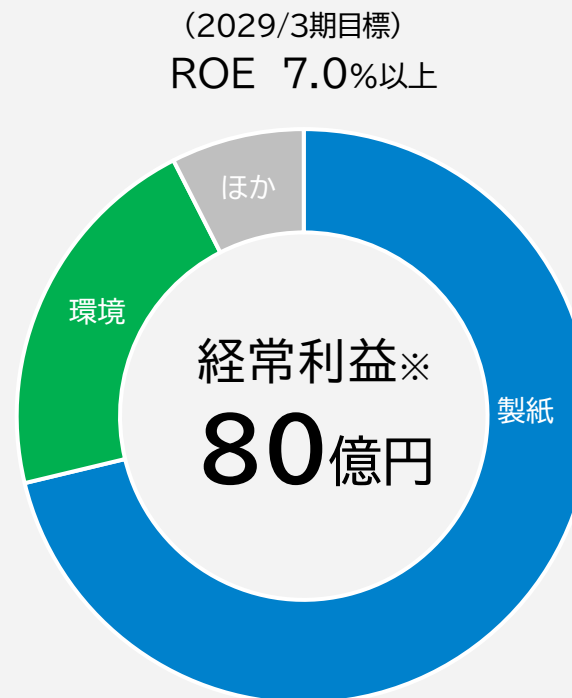
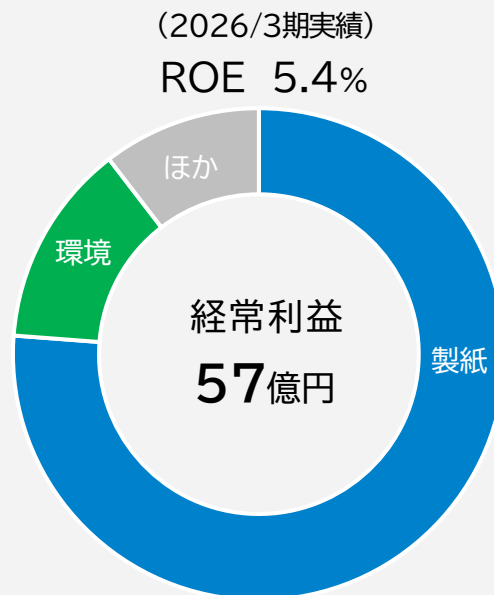
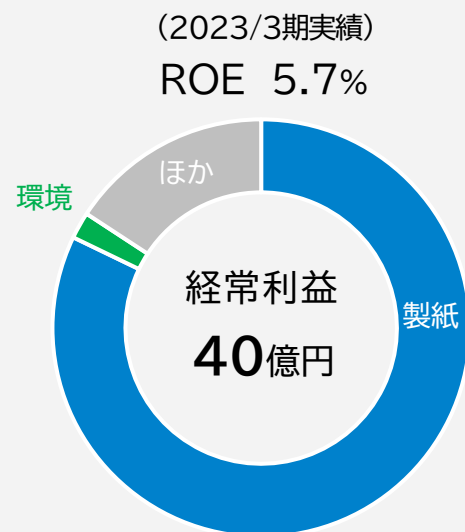
中長期的な収益源への種まきと既存事業の安定化により
リターン創出に向けた基礎固めを実行します

第5次中計

第6次中計

第7次中計

~第9次中計



※ 連結売上高の約4割を占める段ボール原紙・クラフト紙の損益は当社が35%を保有する
日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社に係る持分法投資損益で認識するため目標としては経常利益を採用。

現在キャッシュを生み出している製紙事業の収益基盤を強化しつつ 再資源化ビジネスへ積極的に投資していきます

M&Aに係る投資計画

190億円以上

成長投資により複数の再資源化領域へ新規参入し、
リターンの一部摘み取りを図ります

製紙の基盤 & 戦略投資計画

255億円

既存製紙事業での収益体制を強固にしつつ、
成長が見込まれる市場へのアプローチを継続します

想定する総還元額3年累計

90~160億円

成長投資と並行して、
資本効率の改善を意識し株主還元も強化をしていきます

重点戦略 **01** つくる

生産体制・製品/サービス構成の最適化

重点戦略 **02** ふたたび

環境関連事業の基盤固めと周辺領域への拡大

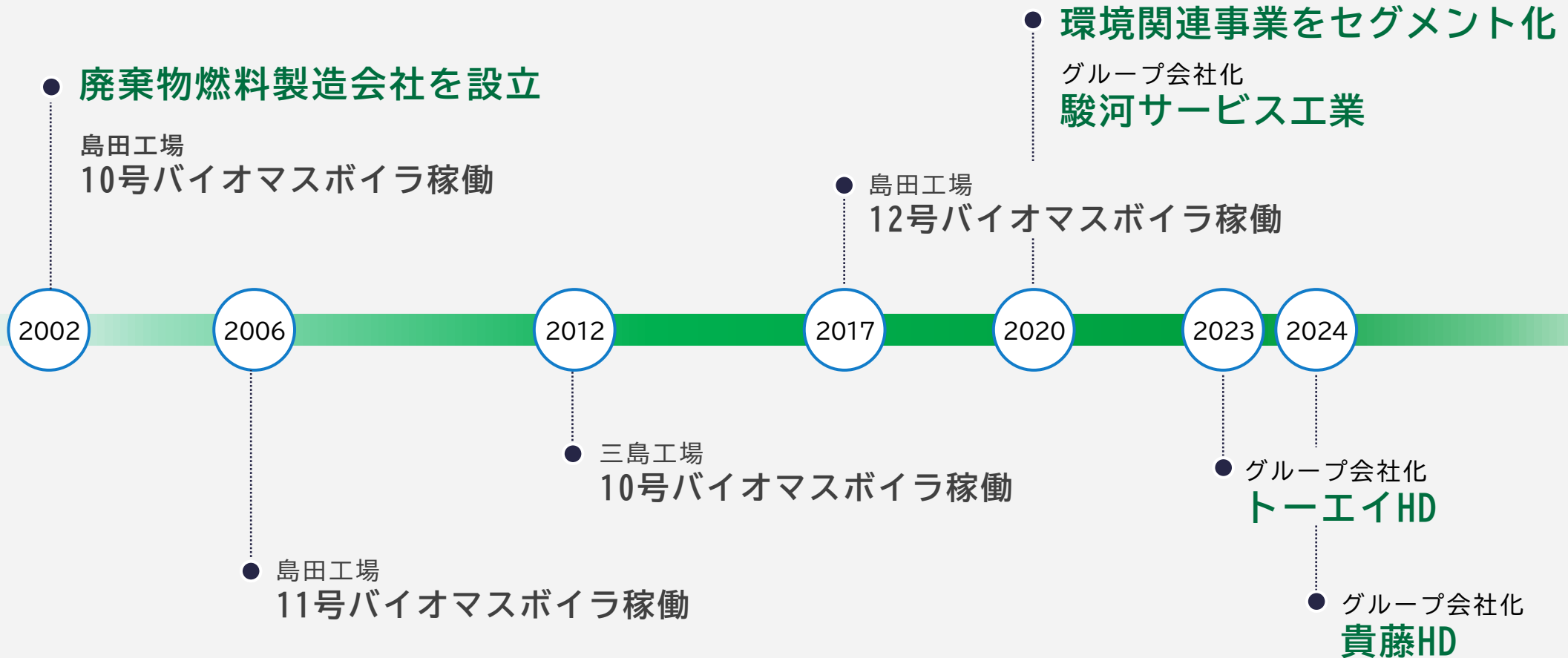
重点戦略 **03** 未来へ

成長を支えるサステナビリティ経営の高度化

(百万円)	第6次中期経営計画	第7次中期経営計画	
	2026/3期 実績	2029/3期 目標	差異
セグメント			
産業素材※	2,013	3,100	+54.0%
特殊素材	1,494	1,700	+13.8%
生活商品	798	900	+12.8%
環境関連	755	1,700	+125.2%

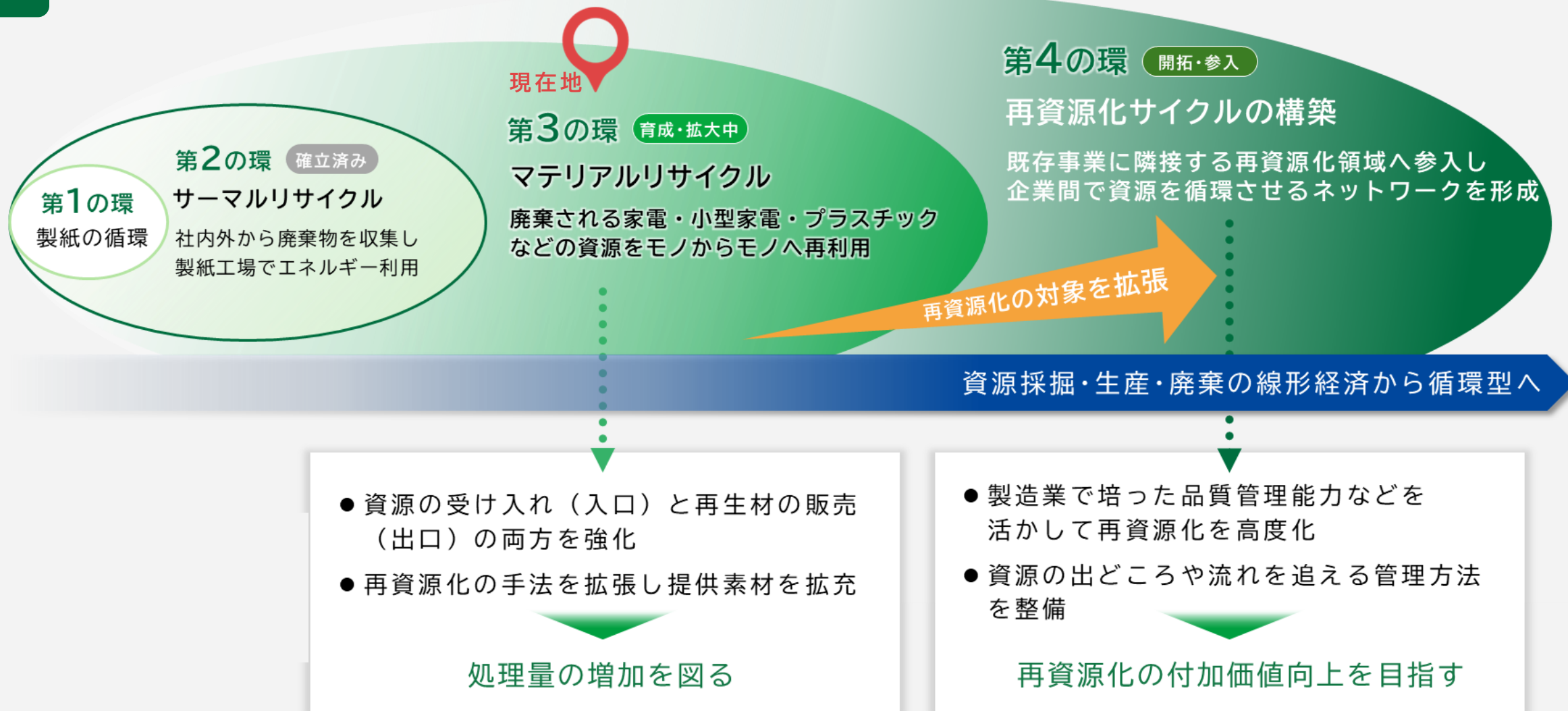
※ 産業素材のセグメント利益には持分法投資利益を含む

廃棄物のエネルギー利用を契機に再資源化ビジネスを拡大させています



勝ち筋

- ① 市場の構造的な成長
- ② 製造業でもありリサイクラーでもある独自のポジション



M&A・アライアンスを含む新規事業への参入を複数件実施 リターンの一部摘み取りと中長期的な収益規模の拡大を目指す

第6次中期経営計画

M & Aに係る投資実績
(2024/3期~2026/3期) **88億円**※

6次中計の成果

- 廃棄物の収集地域の拡大
- 再資源化品目の増加

(グループ化した再資源化関連の会社)

2023年 4月 トーエイ株式会社
2024年 4月 株式会社貴藤

セグメント利益
122百万円

2024/3期

セグメント利益
529百万円

2025/3期

セグメント利益
755百万円

2026/3期

第7次中期経営計画

M & Aに係る投資計画
(2027/3期~2029/3期) **190億円**~

7次中計の狙い

- 既存事業とのシナジーとポートフォリオの拡充
→再資源化ビジネスの収入源を増やしていく



- 再資源化領域での新規参入
- 既存事業の安定化

セグメント利益
(目標)
1,700百万円

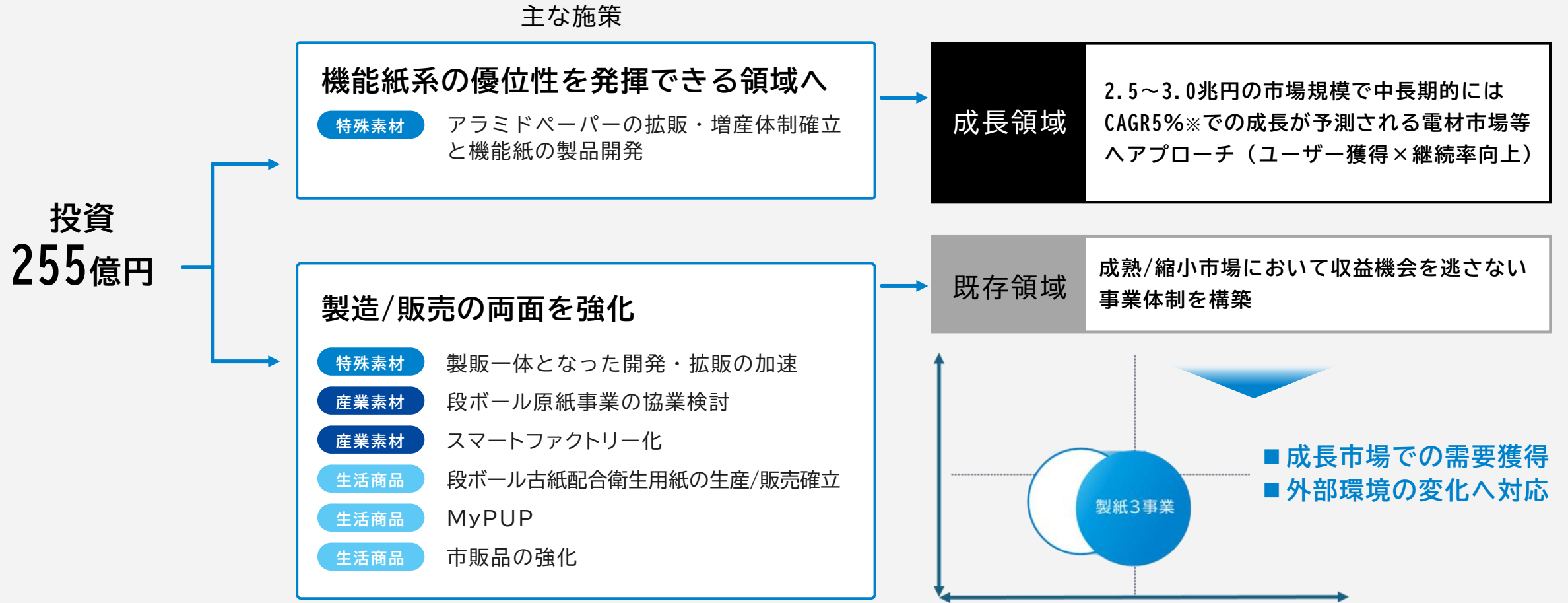
2029/3期

ビジョン2035

各収益源を育成し
成長を図る

ビジョン2035

外部環境の変化に対応しながら、成長市場へのアプローチを継続



基本方針

環境の変化に対応し安定的な利益創出が可能な生産体制へ

主要施策①

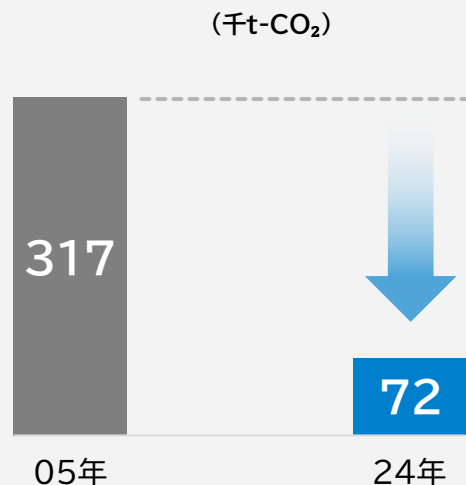
段ボール原紙事業の協業検討

原紙生産・段ボール加工・販売ノウハウ・リソースの相互活用・協業の可能性検討のため、専門メーカー4社による協業検討の覚書を締結※。協業推進委員会にて環境負荷軽減を目的に多角的な協業を検討していく。

検討項目

- ① 共同で製品・技術を開発
- ② 各社のリソースを活用したコスト削減
- ③ マーケティングでの連携
- ④ 上記以外の協業によるシナジー創出

参考：島田工場のCO2排出量



主要施策②

スマートファクトリー化

労働力不足への対策として島田工場における一部生産設備や倉庫の自動化を実施し生産効率化向上を図る。



| カミヤ式連続蒸解釜（パルプ生産設備）

基本方針

成熟市場での収益性向上と成長領域への拡販

主要施策①

製造販売が一体となった開発・拡販の加速

アラミドペーパーや機能紙を含め、前中計期間で未達となった特殊素材事業における成長領域への製品拡販を加速させるため、紙販売代理店のグループ会社・株式会社TTトレーディングを吸収合併するとともに事業本部に特殊紙に特化した開発部門を新設。

主要施策②

アラミドペーパーの拡販・増産体制確立と機能紙の製品開発

中長期的な成長市場開拓に向けて絶縁、耐熱などの機能性を活かした製品開発を行うとともに、前中計期間では延期した増産投資の実行を前提に、課題だったアラミドペーパーの拡販を促進させる。



| アラミドペーパーの製品使用イメージ（左右）

基本方針

グループにおける原料調達力を背景とする コスト面・販売面での競争力向上

主要施策①

段ボール古紙配合衛生用紙の生産/販売の確立

調達の難化が予想されるプリント用紙などが由来の白物古紙に代わり、産業用紙製造における調達の横展開が可能な段ボール古紙を配合したトイレットペーパーの新規開発、ペーパータオルの既存品定着&ラインナップ追加を実施。段ボール古紙を配合しつつも品質と使用感を損なわない衛生用紙の生産、販売確立を目指す。



| 段ボール古紙を配合した再生紙ペーパータオル

主要施策②

市販品の強化

同業他社の参入や輸入品の増加など供給過多かつ価格競争激化の可能性のあるペーパータオル市場で存在感を発揮するため、自社販路の稼働と、独自製品の投入により『Towper』ブランドを訴求する。

主要施策③

MyPUP活用

紙パッケージ製作をオンライン上で完結出来るITプラットフォームで、加工品事業領域の拡大を目指す。

事業戦略と連動する形でマテリアリティを再整理しました

マテリアリティ（重要課題）		背景		影響	
		機会	リスク	将来財務	社会環境
戦略的マテリアリティ 長期目標に向けた経営戦略に直結するマテリアリティ	再資源化ビジネス領域の拡大	既存の事業や経営資本を活かし事業領域を拡張することでグループの競争優位性を獲得する機会	事業開発の停滞により外部環境の変化に乗り遅れ成長性が低下するリスク	○	○
	顧客体験価値に資する製品・サービスの提供	市場環境や消費者の変化を取り込むことで事業ポートフォリオを強靱化させる機会	市場ニーズと研究開発の方向性の不一致による成長機会の逸失リスク	○	○
	価値創造に挑戦する人財づくり	従業員ひとりひとりのスキルが向上し、グループの成長をけん引するイノベーションが創発される機会	必要人材を確保できず成長施策や事業継続が困難化するリスク	○	
基盤マテリアリティ 戦略的マテリアリティに取り組むうえで経営の基盤となるマテリアリティ	気候変動問題への対応	低炭素操業を活かした渉外活動により、企業価値を向上させる機会	（移行）法規制の厳格化に伴い対応コストが増加、新たに発生するリスク （物理）異常気象・災害の甚大化・頻繁化による事業被害のリスク		○
	グループ・ガバナンスの強化	強固なガバナンス体制を確立し、適切な意思決定を行うことで成長に向けた基盤を確固たるものにする機会	法令違反、コンプライアンス違反により、ステークホルダーからの信用を失うリスク	○	

01

会社概要

02

事業紹介

03

中長期経営計画

04

株主還元

05

直近の業績動向

Tokuis

Tokai

第6次中計期間の方針

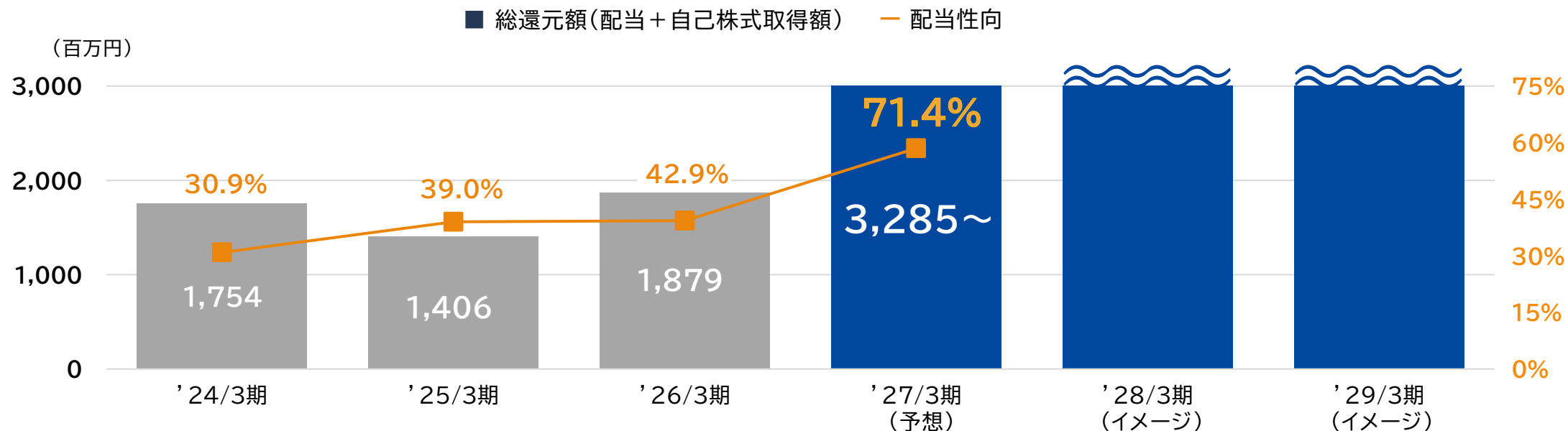
(2024/3期~2026/3期)

総還元性向30%以上

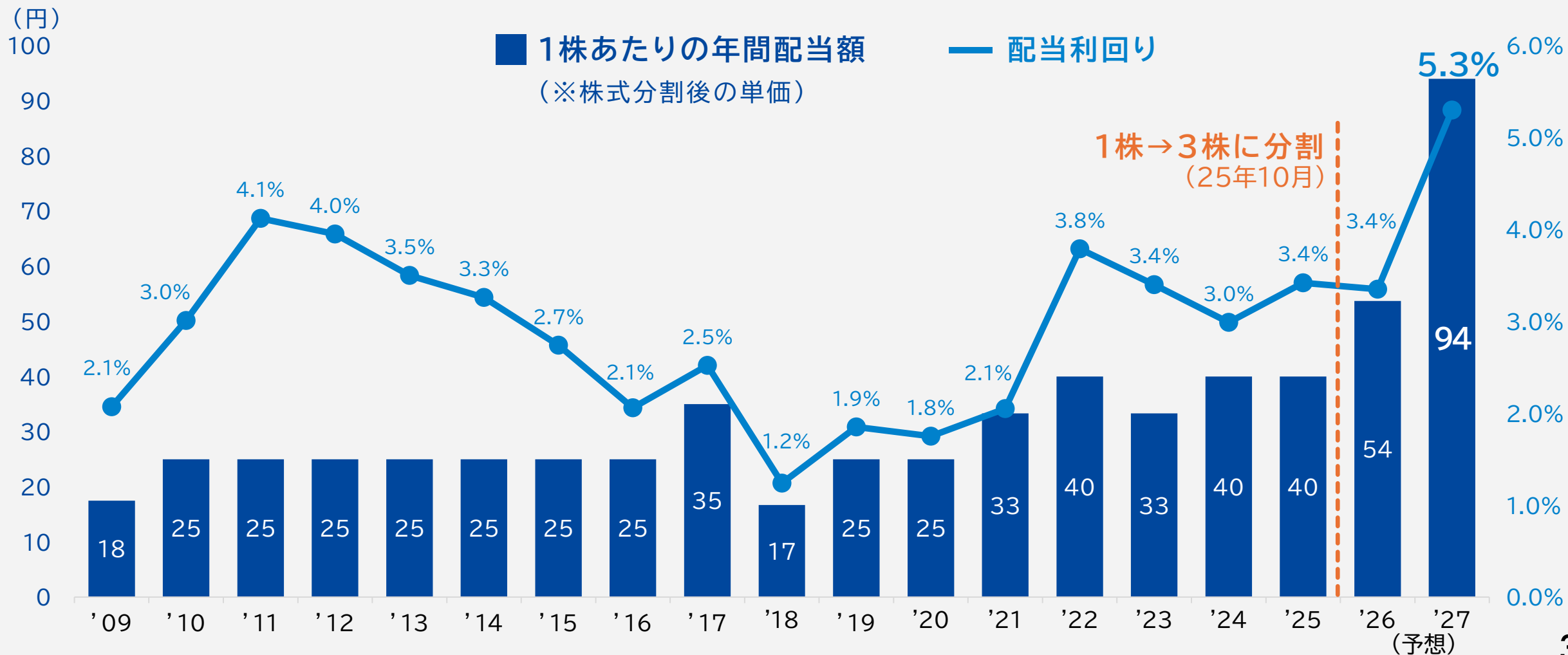
第7次中計期間の方針

(2027/3期~2029/3期)

配当性向50%またはDOE4.0%
のうちいずれか還元額が高い方



配当方針の変更に伴い2027年3月期は過去最高額となる見込みです



保有期間が3年未満

300株以上 900株未満	図書カード (1,000円)
900株以上(選択制)	1. トイレットペーパー (@12ロール×8パック)
	2. タウパー・ポップペーパー (Mサイズ @200枚×12個)



タウパー・ポップペーパーMサイズ

保有期間が3年以上

300株以上 900株未満(選択制)	1. トイレットペーパー (@12ロール×8パック)
	2. タウパー・ポップペーパー (Mサイズ @200枚×12個)
900株以上(選択制)	1. 高級トイレットペーパー (@12ロール×8パック)
	2. タウパー・ポップペーパー (Mサイズ @200枚×18個)

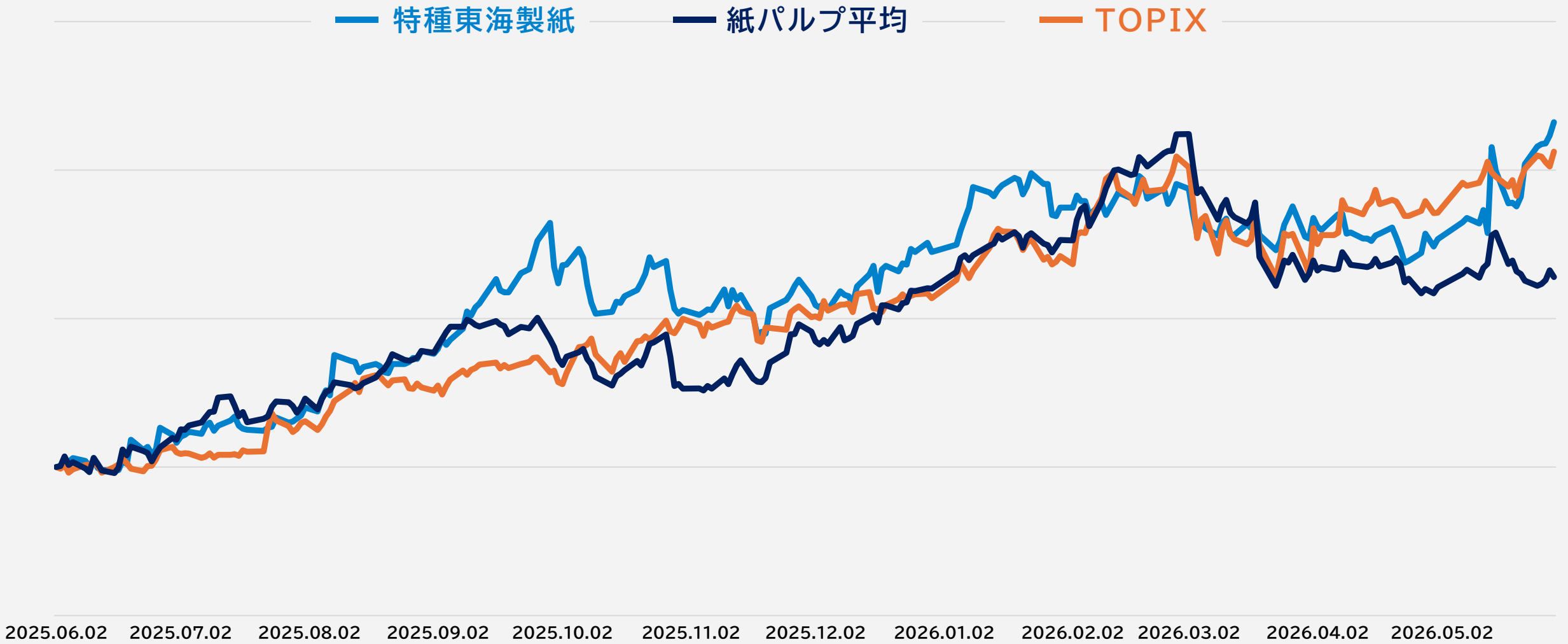


トイレットペーパー



高級トイレットペーパー

株主還元 | 直近1年間の株価チャート (25/6/2~26/6/2)



※ 25年6月2日を1とした場合の増減

01

会社概要

02

事業紹介

03

中長期経営計画

04

株主還元

05

直近の業績動向

Tokuis

Tokai

売上高は過去最高、経常利益以外では前年同期比増収増益となりました

	2025/3期 (実績)	2026/3期 (実績)	前年同期比	
売上高	94,800	95,413	+613	+0.6%
営業利益	3,928	4,296	+368	+9.4%
経常利益	6,227	5,728	▲499	▲8.0%
当期純利益	3,607	4,368	+761	+21.1%
ROE	4.6%	5.4%	+0.8pt	—

- 衛生用紙の価格改定効果が通年で寄与
- 2024年4月にグループ化した連結子会社の損益が通期で寄与
- 持分法投資利益の減少により経常利益は減益
- 2025/3期に計上した生産設備の減損損失などの反動増により当期純利益は増益。
- これによりROEも4.6%から5.4%へ改善

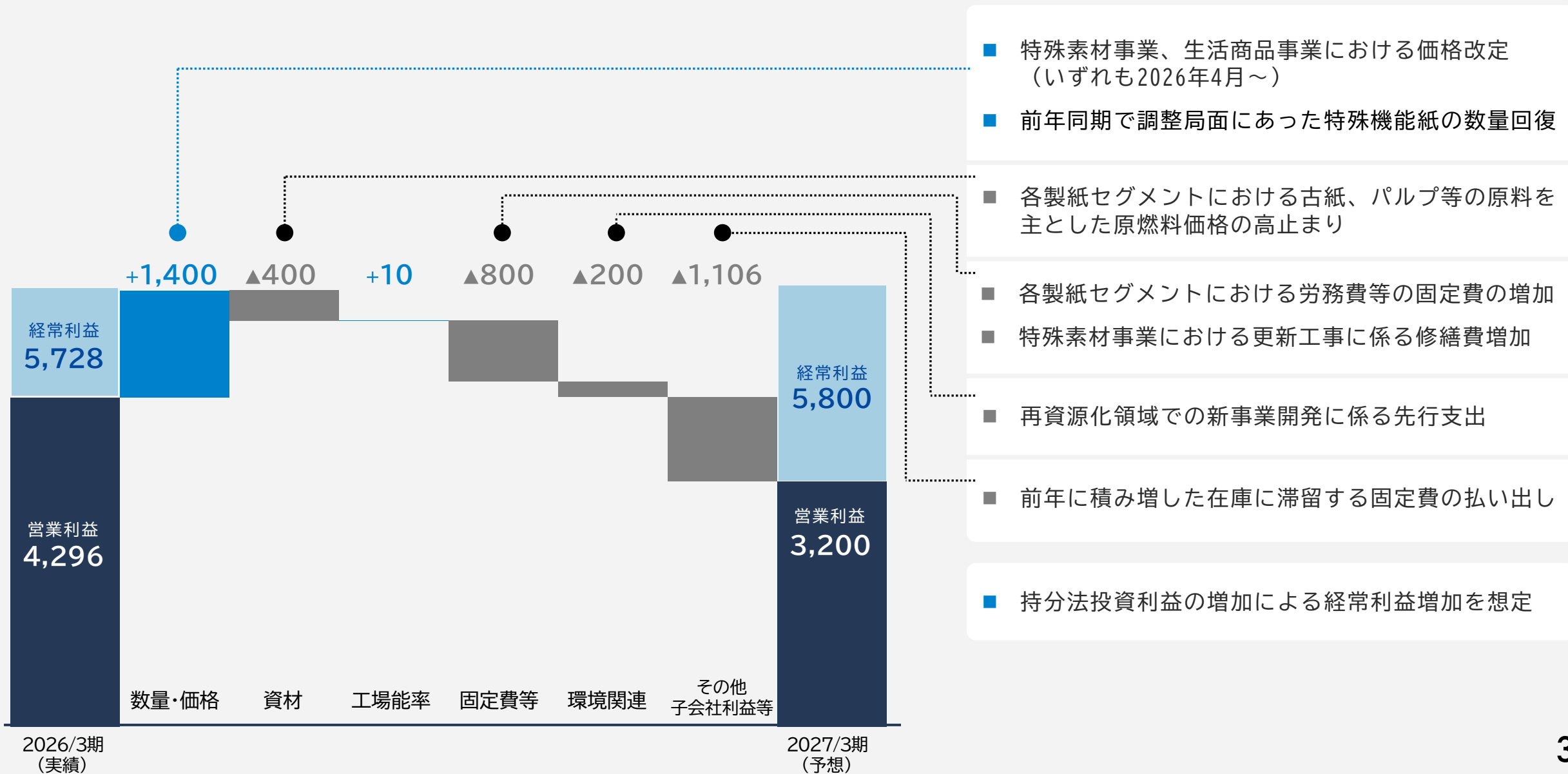
特別要因で営業利益は減益、経常利益・当期純利益は増益の予想です

	2026/3期 (実績)	2027/3期 (予想)	前年同期比	
売上高	95,413	100,000	+4,587	+4.8%
営業利益	4,296	3,200	▲1,096	▲25.5%
経常利益	5,728	5,800	+72	+1.2%
当期純利益	4,368	4,600	+232	+5.3%
ROE	5.4%	—	—	—

- 価格改定効果等で売上高は増収見込み
- 更新工事に伴う一部生産設備停止により特殊素材事業の固定費負担が増加の想定
- 中東情勢の影響による原料価格の上昇、供給不安定化などが懸念。動向に注視しつつコスト削減や価格転嫁に取り組む方針

※大幅に業績予想が変動する場合には速やかに開示

直近の業績動向 | 2027年3月期 営業/経常利益の増減要因



- 特殊素材事業、生活商品事業における価格改定 (いずれも2026年4月～)
- 前年同期で調整局面にあった特殊機能紙の数量回復
- 各製紙セグメントにおける古紙、パルプ等の原料を主とした原燃料価格の高止まり
- 各製紙セグメントにおける労務費等の固定費の増加
- 特殊素材事業における更新工事に係る修繕費増加
- 再資源化領域での新事業開発に係る先行支出
- 前年に積み増した在庫に滞留する固定費の払い出し
- 持分法投資利益の増加による経常利益増加を想定

TECHNOLOGY & TRUST

技術と信頼で顧客と共に未来をひらく



つくる、ふたたび。未来へ



M&A関連投資
190億円以上

DOE4%
or
配当性向50%

特種東海製紙とは？

ただの“製紙メーカー”ではありません

将来に向けた成長ストーリーは？

社会・環境課題の
ソリューションパートナーを目指します

中期経営計画の内容は？

成長投資の積極化と株主還元強化を両立します